

和歌山県信用保証協会の経営理念である「信頼され・親しまれ・期待される信用保証」を目指し、地域金融の担い手として、アフターコロナの新たな日常を踏まえた経済の力強い回復と生産性の更なる向上に取り組むため、金融機関や関係機関との連携強化（リスク分担）を図りながら、中小企業者等の資金繰り支援はもとより、創業・経営改善・事業承継・事業転換など、中小企業者等のあらゆるライフステージに応じたきめ細かな金融支援・経営支援の拡充に努めます。さらに事務の効率化・簡素化、利用者の利便性の向上のため、信用保証業務の電子化の取り組みや持続可能な社会を実現するため、SDGs 宣言に向けた具体的な取り組みを推進します。

以上を踏まえ、令和3年度から令和5年度までの3年間における基本方針として、次の事項を積極的に取り組むこととします。

1) 中小企業者等の実情に応じたきめ細かな資金繰り支援の取り組み

新型コロナウイルス感染症による経済活動への打撃は深刻であり、収束の目処も立っていないなか、中小企業者等の経営環境の厳しさは長期化が予想されることから、金融機関や関係機関との連携を一層強化し、中小企業者等の実情に応じた資金繰り支援を実施します。

〈取組方針〉

- ① 金融機関や関係機関とより一層連携強化を図り、中小企業者等の実情に応じた保証制度の提案を行い、資金繰り支援に柔軟かつ積極的に取り組みます。
- ② 中小企業者等の多様なニーズに応えるため、保証付融資とプロパー融資を適切に組み合わせたリスク分担を行い、安定した資金調達の支援に取り組めます。
- ③ 「経営者保証に関するガイドライン」に則り、経営者保証に頼らない保証に積極的に取り組みます。

2) アフターコロナを見据えた経営支援・事業再生支援・事業転換の取り組み

コロナ禍で経営環境が大きく変化し経済活動の停滞の長期化も予想されるなか、業績の回復が進展せず過剰債務を抱えている中小企業者等の力強い回復に向け、金融機関や関係機関と連携を強化し、より一層の経営支援態勢の強化を図るとともに、アフターコロナを見据えた経営改善・事業転換等に積極的に取り組みます。

経営支援等にあたっては、特に、認定支援機関など専門家を活用した質の高い経営支援を通じて、中小企業者等の経営課題の解決を図り成長への貢献に取り組みます。

〈取組方針〉

- ① 中小企業者等に対し、専門家による経営相談会の開催、専門家派遣事業「わかやま連携サポート」の実施など経営支援に積極的に取り組みます。
- ② 中小企業者等の経営改善・事業転換等のため「認定支援機関による経営改善計画策定支援事業」の活用を促します。
- ③ 経営支援の効果を検証するための必要なデータを蓄積し、定量的な効果検証の試行・準備を行い、係る工夫や改善に取り組みます。

3) 創業・事業承継などライフステージに応じたきめ細かな経営支援の取り組み

県内開業率は依然として全国平均開業率を下回っており、地域経済の発展には開業率を引上げ、雇用を創出することが重要となっています。また、中小企業者等の経営者の高齢化が進み、事業承継対策が社会的に喫緊の課題とされているなか、コロナ禍を受けて後継者不在企業の休廃業が急増することが懸念されています。

このような状況において、地域の貴重な経営資源の創出や引継ぎを支援するために金融機関や関係機関と連携を一層強化し、中小企業者等のライフステージに応じたきめ細かな創業・事業承継支援などに積極的に取り組みます。

〈取組方針〉

- ① 金融機関や関係機関と連携・協力を一層強化し、創業・事業承継に係る相談・保証に積極的に取り組みます。
- ② 創業セミナー・事業承継セミナーの開催、また専門家による創業者フォローアップ支援、創業計画策定支援および事業承継支援に積極的に取り組みます。
- ③ 創業・事業承継に関する保証制度について、金融機関や関係機関に対し周知および利用促進に積極的に取り組みます。

4) コンプライアンス態勢の充実・強化およびリスク管理体制の充実

信用保証協会倫理憲章、法令や業務上の諸規則等を厳格に遵守し、中小企業者等から「信頼され・親しまれ・期待される信用保証」を目指して、下記の通り取り組みます。

〈取組方針〉

- ① 保証協会の業務の公共性を十分に認識し、「コンプライアンス・プログラム」に基づく活動の着実な実施により、コンプライアンスのより一層の浸透と役職員の意識向上を図り、健全かつ適切な業務運営に努めます。
- ② 適正な個人情報および特定個人情報の取扱いを行い、個人情報保護および特定個人情報保護に努めます。
- ③ 反社会的勢力等の不正利用防止および排除に向け、組織的な態勢整備の取り組みおよび反社会的勢力等による不当要求に対して毅然たる態度で対応します。

5) 電算システムの安定稼働ならびに利便性の向上

電算システムの安定稼働に努めるとともに、中小企業者等および金融機関の更なる利便性向上、ならびに業務効率化のための機能強化を図ります。

〈取組方針〉

- ① 保証協会コンピュータサービス(株)と連携し、ORBITシステムの安定稼働に努めます。

- ② 保証申込から融資実行までのリードタイムの短縮を実現するため、(一社)全国信用保証協会連合会が開発予定の保証協会と金融機関間の書類及びデータの電子的授受を可能とするための共同システムを推進 (ORBITシステムとの連携を含む) し、信用保証業務の電子化を進めます。
- ③ ORBITシステムを基盤とした独自情報系システムの機能強化を図ります。

6) その他の項目

- ① 中小企業者等の資金繰り支援をするべく、経営・金融相談に的確に対応できるよう協会業務全般に精通する職員の育成を行い、中小企業診断士等の資格取得の推進を図るとともに、金融機関及び関係機関等との円滑な連携を図れる専門性の高い人材を育成します。
- ② 保証推進・経営支援策等各種施策の利用推進について、各種広報媒体を活用し積極的な広報に取り組みます。
- ③ 自然災害やコンピュータ停止等の緊急事態に備え、事業継続計画 (BCP) の整備を行い、実効性の確保に努めます。
- ④ 中小企業者等および金融機関の利便性向上ならびに業務効率化のため、押印レス化 (不要な押印の省略) を進めます。
- ⑤ 中小企業支援や社会貢献活動を通じて、地域におけるSDGs (持続可能な開発目標) への推進に貢献します。